



こんにちは森林官です！ 螺湾森林事務所

2023. **9** No. **90**

- ・北海道国有林における緑の普及事業（技術普及課）
- ・五稜郭国有林における樹種転換事業（檜山森林管理署）
- ・こんにちは森林官です！ 螺湾森林事務所
（十勝東部森林管理署）
- ・毎年10月は「木材利用促進月間」です！



林野庁



北海道森林管理局

北海道国有林における緑の普及事業

技術普及課

北海道森林管理局では、地元小学校等との連携による「森林教室」や、地域のイベントへの参加等を通し、森林環境保全等に関する普及啓発を行っています。

小学校での森林教室

北海道森林管理局（ウッディホール）でのイベントの開催

森林教室・出前授業

森林管理局、各森林管理（支）署及び各森林ふれあい推進センターでは、学校からの依頼に応じて、出前授業や室内のほか森林内でも森林教室を開催しています。

参加者に興味を持ってもらえ、少しでも心に残る内容を心がけて実施しています。



具体例として、森林管理局1階のウッディホール（次ページ）を利用した札幌市の小学2年生を対象とした森林教室をご紹介します。最初に、ウッディホールの展示物を見学しながら、木材や木の種類などについて説明しました。その後、小学校の教室に移動し、森林の働きや校庭にある樹木の話、また、札幌市民にとって身近な自然環境である円山公園の生態系等について説明しました。

北の森かるた



大人版

こども版

森林・林業をより身近に感じてもらえるよう、オリジナルの「北の森かるた」を作成し、森林教室やイベントの機会に活用しています。

このかるたは、紙ではなく、北海道産のトドマツとシナノキを使っており、「板かるた」と同じような板の札になっています。

そして、札の内容は、皆さんが楽しめるよう、森林・林業に関するものから、幅広い事गरらを用意していて、札の解説冊子もついています。また、大人版とこども版があり、こども版は小学3年生にも理解できる内容にしています。



木製の板の札

大人版、こども版ともに、札の解説がついています。ご関心ありましたら、北海道森林管理局までお問い合わせください。



か	大人版	カツラの木 ハートの葉っぱカラメルのかおり
	こども版	カワイイ手のひらカエデの葉
る	大人版	留萌の浜に よみがえるニシン 森の再生から
	こども版	ルーツは 中国 イチョウの木
た	大人版	食べ残し ヒグマに味を 覚えさせないで
	こども版	食べないで 見分けがつかない 毒キノコ



ウッディホール

バットコーナー

樹木標本

木育コーナー

大型モニター 図書コーナー

開放時間
平日 10:00~15:00

北海道森林管理局の1階には、道産木材をふんだんに使用した「ウッディホール」があり、一般開放しています。

木のプールやままごとハウスなどの「木育コーナー」を常設するとともに、大型モニターではクイズや動画により森林について紹介しています。また、実際に手に触れることができる木の標本や種子を並べた樹木紹介コーナー、パネル展示、図書コーナー、プロ野球選手のレプリカ木製バットを展示し、広く森林・林業を紹介しています。

また、不定期ですが、企画展も開催しており、9月は、市町村が取り組む森林・林業PRとして、占冠村のパネルを展示しました。



占冠村の展示

ウッディーホール企画展は今後も開催予定です。

ワークショップ・パネル展示

北海道森林管理局単独や関係機関と連携したイベントにおいて、「木の輪切り」、「木のたまご」などの木材を利用したワークショップによるふれあいや森林・林業に関するパネルの展示を通じて、森林・林業の紹介を行っています。



各種パネルの展示

ワークショップの具体的な内容は、[前号\(8月号\)](#)に掲載しています。こちらをご覧ください。→



今後の予定

北海道森林管理局では、今年度、以下のウッディホールの企画展、イベントの出展を予定しています。

<ウッディホール企画展>

開催月	内容
10月	木材利用促進月間企画展
12月	北海道大学研究成果パネル展
令和6年2月	知床世界遺産パネル展

<イベント出展>

日にち	イベント名(場所)	内容
令和5年 10月22日	道民森づくりの集い2023 (さとらんど(札幌市東区))	ワークショップ・ パネル展示
令和6年 1月20、21日	木育ひろばinチ・カ・ホ2023 (札幌市地下歩行空間北三条交差点 広場(西))	ワークショップ・ パネル展示

具体的な内容は、開催が近づきましたら[北海道森林管理局のHP](#)でお知らせしますので、ご確認ください。

地域課題の解決に向けた取組

五稜郭国有林における樹種転換事業

檜山森林管理署

【はじめに】

五稜郭国有林は函館市の五稜郭の東側から東へ300mほどの住宅街に位置し、林縁には民家や学校が隣接しています。大正10年に風致保安林、平成7年には保健保安林に指定され、歴史ある赤松並木の景観と保健休養の場として広く親しまれています。



【五稜郭国有林の現状】

五稜郭国有林は、主に昭和8年に植栽された90年生のヤチダモ人工林で、ヤチダモ人工林の面積は0.92ha、ha当りの本数は400本となっています。近年、ヤチダモの成長に伴い、近隣への枯れ枝の飛来や日照不足、害虫発生といった弊害も多く見られるようになってきました。このため、これまで数年にわたり、倒木や落枝のおそれのある部分の除去や梢端部の切り落とし、枝払いなどの手入れを行うなどの林内整備を実施してきました。

このような中ですが、令和3年に、アメリカシロヒトリの幼虫が大量発生しました。周辺への被害抑止と、林内木の食害防除を目的に、幼虫を除去するための枝切処理を、住宅と隣接する場所を中心に実施しました。しかしながら、令和4年以降も発生がつついており、職員による駆除作業を行っている状況です。

【樹種転換事業】

このような状況を踏まえ、ヤチダモを伐採し、アメリカシロヒトリが発生しない樹種を植栽するといった、抜本的な林内整備が必要と考え、「樹種転換事業」を検討しました。

樹種転換事業の計画は、伐採率30%以内の伐採を行い、その跡地に苗木を植え、その後、苗木が育った段階で、最初に伐採しなかった上層木について、同様に伐採し苗木を植えることを繰り返します。このようにすることで、年月はかかるものの、高木を維持しながら樹種転換を図ります。

令和5年度中に最初の伐採を実施する予定で、現地は南北方向に長く、東西に民家・学校があることから、林縁を縦（南北）方向に伐採し植栽する形としました。これにより、林地と住宅との距離を保ち、住宅等への害虫被害を防ぐ構想です。

【今後に向けて】

次年度以降は、アメリカシロヒトリに強い樹種の植栽を行い、引き続き地域と一体となった活動の場としながら、森林整備に取り組む考えです。樹種転換には時間を要しますが、皆様方のご理解を得ながら、五稜郭国有林の保安林機能の維持と、健全な森林づくりに努力していきたいと考えています。



五稜郭国有林は、保安林であるとともに、町内会や有志による植樹や清掃活動、社会貢献の森として林内整備など、ボランティアや森林づくりの活動の場としても、地域の皆様に親しまれています。

こんにちは 森林官です!

十勝東部森林管理署 ^{らわん} 螺湾森林事務所
森林官 氏家 萌美



【地域と担当区の紹介】

当森林事務所は、足寄町市街より北東に位置する螺湾市街からオンネト一近くまで、螺湾川沿い延長 30 km、1 万 ha の国有林を管轄しています。

螺湾地区では日本一大きなフキとして有名な「ラワンぶき」が自生しています。また、2000 年に新種登録されたアショロアという約 2,800 万年前の哺乳類化石やクジラの化石が発見されており、当時足寄町を含む十勝東部は、現在の網走市付近に抜ける海峡だったと言われています。

昔は海でしたが、今は豊かな森林資源に恵まれており、天然林ではトドマツ主体の中に、カバ類・ナラ・ニレなど多様な落葉広葉樹が混在し、秋には美しいコントラストを魅せてくれます。

【森林の育成～間伐～】

管内の人工林ではトドマツのほか、カラマツが多く育っています。人工林で実施する作業に、林内の一部の樹木を伐採する「間伐」があります。森林の多面的機能を発揮させるためには、適切な森林整備によって健全な森林を育てることが必要となり、そのためにいつ間伐を実施すれば最も森林に効果的か、この土地にはどの樹種が適応するかを見極めるのも森林官の重要な仕事の一つです。



間伐実施後のトドマツ林。光が地表に届くようになり、残された樹木の幹や根が発達するほか、下層植生の発達が促進され、水源涵養や土壌保全機能が増進します。

【森林官の仕事と IT ツール】

森林官は間伐の時期など、森林の状況を見極め最も効果的な整備方法を判断し、森林の未来を左右する仕事だと考えています。このような判断には林内での調査に加え、ドローンや衛星画像による上空からの分析も大いに効果を発揮します。このため当事務所では、多様な森林の状態に応じて様々な業務を行う中で、効率的に適切な分析や考察、判断が行えるよう、ドローンや GIS（位置の情報をもったデータを地図上などで視覚的に表示する技術）等の IT ツールを活用しています。



ドローンから撮影した管内の森林。秋期に撮影すると、常緑のトドマツ・アカエゾマツ、黄葉するカラマツ、落葉した広葉樹がはっきりと区別されて見え、森林の状況を確認するのに非常に効果的です。

【最後に】

IT ツールを活用する一方で、食害による樹木への被害確認や下層植生の状況把握など、地道に山を歩き、樹木を一本ずつ確認し、自分の五感で森林の状況を知ることにも非常に重要で、森林官にとって欠かせないと日々身をもって感じています。毎日現場を歩く中で、植物は嘘をつかず、森林での出来事には必ず原因があることを実感します。これを見極め、適切な判断を行い、未来の健全な森林の育成に貢献できるよう、これからも山に赴き、知識研鑽と日々の業務に励みたいと思います。



【知床森林生態系保全センターとは】

知床森林生態系保全センター（以下、知床センター）の仕事は、森林管理局の中でも特殊なものです。ご存じのとおり、知床は世界自然遺産に認定されており、世界的に希少な自然環境が魅力的な場所です。知床センターは、この世界自然遺産に認定されている知床の素晴らしい自然の価値を保つことを目的に業務を行っています。

具体的には、知床世界自然遺産には、その価値を保つための取り組みや、その価値が保たれているかをチェックするために行うモニタリング等について定めた管理計画等があります。知床センターでは、これらに基づいたモニタリング事業の実施や、専門家がこれらを評価し、助言を行う会議の運営等を行っています。

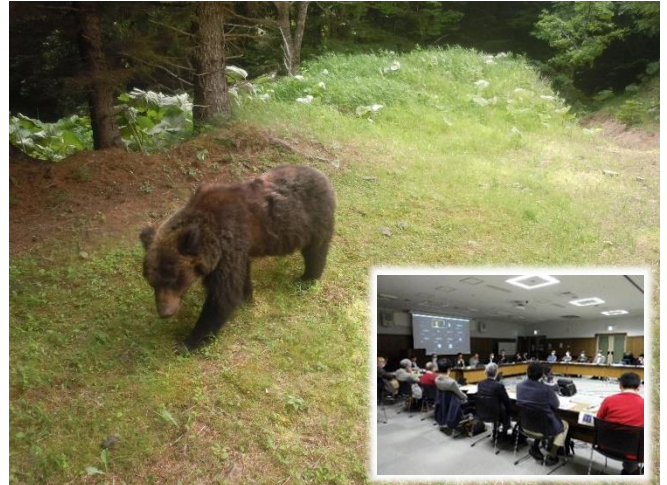
【野生生物観測調査】

知床センターでは、管理計画に基づいた様々な調査事業を行っており、その一つに野生生物観測調査があります。この調査は、適切な生態系の管理に繋げることを目的に、センサーが反応すると自動で撮影を行うカメラを林道沿いの木に設置し、野生生物の生息状況を観測しています。

2カ所の林道でそれぞれ2ヶ月間調査を実施しており、設置期間中は週に1度見回りを行っています。

【関係機関との連携】

知床センターでは、関係機関と連携して仕事をすることがあります。その中の1つが羅臼岳の登山道整備です。これは環境省や地元の山岳会と行っており、雪や笹などで見えなくなった登山道を登りやすくするため、ロープの設置や笹の刈り取りをしています。



センサーカメラで自動撮影されたヒグマ。延べ4ヶ月の調査では、2,000枚以上の写真が撮影され、そこにはエゾシカやヒグマ、タヌキやキツネといった様々な動物が写り、時にはアメリカカミンクといった外来種も写ることがあります。また、これらの調査を踏まえて、計画の改定などを行います。



登山道へのロープの設置。ロープはあくまでも目印で、掴んで歩くためのものではありません。このほか、看板の設置なども登山シーズン前に行います。

【おわりに】

知床センターでは、このほかにも様々な業務を実施しています。紙幅の都合上、紹介できなかったものについては、知床センターの[ホームページ](#)で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。





毎年10月は「木材利用促進月間」です！



林業は持続可能な循環産業

森林と木材、木材と人、人と森林はつながっています。木材を使うことで、私たちは森林や環境につながることができます。魅力的な木製品を取り入れて、生活を豊かにしてみませんか。



木材の魅力を伝えるイベントが全道各地で開催されます



10月15日(日) はぐくむ秋祭り

会場：帯広市 帯広の森・はぐくむ

木工や間伐など、様々な体験で秋の帯広の森を楽しめる、年に一度の一大イベントです

10月22日(日)

道民森づくりの集い2023

会場：札幌市 サッポロさとらんど

木工体験、薪割り体験、木登体験、パネル展示など様々な木育コーナーを楽しめます

10月22日(日)

木育木工教室

会場：中標津町 道立ゆめの森公園

木工体験コーナーや遊びのコーナーなど、たくさんの方に木に触れてもらいます

10月

炭焼き・鑑賞炭づくり

会場：せたな町 原田指導林家炭焼き窯

間伐材を炭材として利用し、簡易な炭窯の炭づくり等の体験をします

10月

木材利用促進月間 ウッディホール企画展

会場：札幌市 北海道森林管理局

道産材をつかった木のおもちゃや、木材の利用をPRするパネル展示などを行います



10月1日(日) 第42回 えりも海と山の幸フェスティバル
会場：えりも町 スポーツ公園

えりも町全産業の振興と健康で豊かな町民生活を目指し、漁業・畜産業から第三次産業まで集めた秋の「ふるさと祭り」です

10月14日(土)

銀河の里 Tree Festival

会場：本別町 本別公園静山第1キャンプ場

木工品の販売や、森林散策会、丸太切り体験、バンド演奏やツリーイングも予定しています

10月14日(土)、15日(日)

2023木育・森づくりフェア

会場：釧路町 イオンモール釧路昭和

パネル展、地域材木製品の展示、各種木工体験などを通し、森林づくりの重要性や木の良さに対する理解を深めてもらいます

10月14日(土)、15日(日)

オホーツクウッドクラフトフェスティバル

会場：北見市 オホーツク木のプラザ

オホーツク地方の木製品の展示販売などです

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

占冠中央小学校で森林教室を実施



【上川南部森林管理署】



占冠村立占冠中央小学校において毎年開催されている全校児童を対象とした森林教室に、当署から森林官が講師として協力しました。

プログラムの一つの「森のビンゴゲーム」では、用意したビンゴカードのお題（「まるい葉」、「ギザギザ葉」など16個（4×4））に当てはまるものを、グループに分かれて探してもらいました。限られた時間のなかで、探すのに苦労したグループもあれば、16個すべて探したグループもありました。森林教室を通じて、こどもたちの森林への興味が伝わってきました。

利尻富士町立鷺泊中学校 野外学習



【宗谷森林管理署】



9月1日（金曜日）に、利尻富士町立鷺泊中学校1年生の総合的な学習の時間「野外学習」に協力しました。

野外学習は自然班と観光班の2班で実施され、そのうち、自然班が標高444メートルのポン山散策と観察を行う際に森林官が同行しました。

ポン山に登る途中で、植物やきのこを観察しながら歩きました。あいにくの天気でしたが、生徒の皆さんは積極的に質問をしてくれました。今回の経験が少しでも自然に興味をもってもらうきっかけになればと思います。

帯広農業高等学校（森林科学科）職場体験実習



【十勝西部森林管理署】



8月30日（水曜日）～9月1日（金曜日）の3日間で、帯広農業高等学校の職場体験実習を行いました。

事務室内で林野庁の組織、十勝西部森林管理署で行っている業務を説明した後、治山施設の建設、下刈り実行後の検査業務、製品（丸太）生産業務の一連の作業、造林地での調査などについて、現場の見学や業務の体験をしました。

また、ドローンで撮影した上空からの写真や全天球カメラの写真をパソコンで加工し、地形や森林の状況を把握する作業を体験しました。

国有林モニター現地見学会を開催



【企画課】



9月9日（土曜日）に、国有林モニター現地見学会を開催し、苫小牧市内の防災施設と白老町内のポロト自然休養林を案内しました。

防災施設は、樽前山が冬季に噴火した場合に積雪が溶けて発生する融雪型泥流に備えるもので、この施設の下流で北海道開発局が整備している施設と一体となって効果を発揮する計画です。

ポロト自然休養林は、林野庁が特に訪れていたきたい森として選定している「日本美しい森 お薦め国有林」で、もっとPRすべきなどの意見をいただきました。

広報 「北の森林 国有林」9月号

発行 林野庁北海道森林管理局

編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

【トチノキ（実）】

トチ餅の材料となるトチの実はこの時期に熟します。木の下を歩いていると突然大きな実が落ちて来るので、要注意。実はあくがとても強いのでそのままでは食べられません。



今月の表紙